

商 況

(日本製鐵販賣旬報第129~131號より抜萃)

目 次

昭和13年10月中鐵鋼關係日誌
 海外鐵鋼情況
 東京大阪市場概況
 シヤリング業者の意義
 事故品整理に關する日鐵の取扱

短尺物の取扱に就て
 鐵鋼配給統制團體の追加
 鐵鋼配給統制團體の住所録
 東京大阪市中鐵鋼相場表
 昭和13年10月中發表各種鋼材建値表

昭和13年10月中鐵鋼關係日誌

1日 半製品(ピレット、ブルーム、スラブ、インゴット、シートバー、ティンバー)の取扱方に關する半製品共販の照會に對し商工省より鐵鋼配給統制規則第1條に規定したる壓延鋼材にあらざる故、之が販賣に當ては證明書と引換ふることを要せずと回答があつた。

○商工省に於いては此程短尺物(端物、疵物、ミスロール等を含む)に付て次の諸項を決定した。(別項を参照)

1. 次の各號に該當するものにして製鋼業者、シヤリング業者及伸鐵業者より發生するものは統制品とす。但し熔解用を除く。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 棒 鋼 丸,角,平 | 長 12 呎未滿 |
| 2. 形 鋼 大,中形 | 長 20 呎未滿 |
| 小 形 | 長 18 呎未滿 |
| 3. 鋼 板 厚 板 | 幅 3 呎 × 長 6 呎未滿 |
| 中 板 | 幅 3 呎 × 長 6 呎未滿 |
| 薄 板 | 幅 30 吋 × 長 6 呎未滿 |
| 美裝鋼板 | 幅 3 呎 × 長 6 呎未滿 |
| 4. 鉄 力 板 | 幅 10 吋未滿 |
| 帶 鉄 力 板 | 長 5 米未滿 |
| ロ - モ 板 | 全 部 |
| 5. 軌 條 | 長 6 米未滿 |
| 6. 輕 軌 條 | 長 4 米半未滿 |
| 7. 線 材 | 1 捲 30 疋未滿 |
| 8. 帶 鋼 | 1 捲 30 疋未滿 |
| 9. ミス ロール | 製品の原形を有せざるもの |
| 10. 車 輪 端 | |
| 11. 外 輪 打 抜 | |

2. 鋼材販賣店に於て定尺物を註文に依り切揃品に切斷したる殘存鋼材は鐵鋼割當證明書と引換ふることを要す

3. 短尺、端尺及發生品取扱店を京濱地方では110店、名古屋地方では4店、阪神地方では大阪鋼材以下173店若門倉地方では14店と決定した。

5日 大阪伸鐵工業組合では10月第1回賣出値段を次の通發表す

丸 鋼	4.5mm 280圓, 6mm 250圓, 8mm 230圓
	9mm 220圓, 11mm 230圓, 12mm 220圓
角 鋼	4.5mm 280圓, 6mm 240圓, 8mm 238圓
	9mm 235圓, 11mm 238圓, 12mm 240圓
山形鋼	厚 3~20mm 285圓, 25mm 265圓, 30mm,

40mm 共に 265圓

平 鋼 厚 3-9mm 239圓, 12mm 237圓, 16mm, 19mm, 22mm, 25mm 235圓, 32mm, 38mm 238圓

44mm 240圓, 50mm 242圓, 65mm 250圓

厚 6~9mm 239圓, 12mm 237圓, 16mm, 19mm 22mm, 25mm 235圓, 9mm 厚 12mm 237圓, 16mm 19mm, 22mm, 25mm 235圓,

6日 日滿鐵鋼販賣株式會社と指定商との打合會に於て10-12月積銹鐵建値はt當 81圓据置と決定、日滿商事の指定商辭退に伴ひ日滿商事の販賣クォーターについては日滿鐵鋼が直賣をなすこととなつた。

7日 今週の米國製鋼作業率は全能力の47.9%で前週より1.2%増、U.S.スチール株は62弗¹/₄。

○米國1級屑鐵相場はピッツバーグ消費者渡15弗-15弗50仙、同輸出向紐育解渡11弗-11弗50仙、レール屑輸出向ボストン貨車渡12弗50仙-13弗。

8日 廬山山麓星子戰線に於る敵の要塞硝瓜船を占領す。

○隘口街を占領す。

○新店に突入す。

○我軍は田家鎮北方4里揚子江北岸の要點斬春を攻略せり。

9日 大本營陸軍部發表、8月20日より10月3日に至る迄の綜合戰果次の如し(判明せるもの)敵遺棄死體68,737、捕虜2,017其の他小銃、重機、輕機等多數の鹵獲品あり、一方我方の損害は1,750名、

10日 U.S.スチール會社は9月中の同社鋼材積出高を578,000tと發表したが、之は前月より19,000tの増加であり、昨年11月以來の記録の多量を示した。

○今週の米國製鋼作業率は全能力の51.4%と見積られ前週より3.5%の増加を示した。U.S.スチール株は63弗。

○米國鐵鋼協會發表9月中の米國銑鐵の生産高は1,680,000t(8月1,494,000)同鋼塊2,658,000t(8月2,547,000)

○英國鐵鋼協會發表9月中英國銑鐵生産高は430,000t(前月443,000)鋼塊755,000t(前月659,000)稼動熔鑪爐數77基(前月81)

○棒鋼、形鋼共販理事會では

1. 濫澤理事長任期満了につき改選の結果濫澤理事の重任を決定す。

2. 指定販賣人との契約期限を更に1年延長す。
 尙最近指定販賣人の取扱數量の減少の爲口錢の増率をなすこととなり今後の賣出分より口錢を3厘方引

上げ1分に改訂することゝなつた。

- 3. 指定問屋及特約店の取扱数量激減により當分特別費用の名目にて河岸着以降の諸掛りとしてt當り最高金4圓也を決定す。

- 4. 12-1月積販賣値段は据置と決定す。

○昨今市販品としての鋼材の賣出數量は激減し、爲に從來の所定口錢にては營業困難の状態となりたるに鑑み曩に指定問屋より商工省へ陳情ありし鋼材共販組合の指定問屋及特約店の口錢諸掛りに關する件については商工省は棒鋼、形鋼、鋼板共販組合に對し之が諮問をなしたる處、今般共販組合理事長は商工省へ次の如く答申す。

1. 指定問屋及特約店の口錢は從來通りとす。
2. 當分の間指定問屋は所定口錢の外特別諸掛として最高1t金4圓以内を加算し販賣することを得。
3. 特約店は所定口錢の外指定問屋の特別諸掛を加算したる値段に特約店の特別諸掛として最高1t金4圓以内を加算し販賣することを得。
4. 以上指定問屋及特約店の賣値は自家店舗又は置場渡の値段なり其以後の配給に要する運賃は實費のみを請求するものとす。

11日 U.S スチール及ベスレム製鋼會社を始め米國の有力製鋼會社は、自動車用薄鋼板の賣値をt當4弗方引下げたが之はデトロイト地方に於る自動車用薄鋼板の賣込み競争の結果に基くものと見られてゐる。

○鋼板共販理事會は指定河岸着シーヤ及問屋向販賣値段は据置と決定。

○棒鋼、半製品共販第2部理事會では、半軟鋼、半硬鋼、硬鋼、最硬鋼の既契約殘整理に關して左次如く決定す。

1. 組合員の10月11日以降に於る新規賣出値段は、組合値段以下なること。
2. 組合員の既契約品にて10月11日より11月末日迄に引渡すものは、組合値段の1割高以下たること 12月1日現在の契約殘は組合値段以下に引直すこと。
3. 問屋は組合値段の最高1割高に所定の口錢を加算し12月末日迄賣り得ること。
4. 來年1月1日以後の問屋の賣捌値段は組合値段に所定の口錢を加算したるものに依ること。

12日 大本營陸軍部公表、今曉我陸海軍の精銳部隊は緊密なる協同の下に、南支某方面の奇襲上陸に成功し目下進撃中なり本日同方面炎熱甚しきも天氣晴朗海上靜穩にして陸海將兵の士氣愈旺盛なり。

○信陽城陥落す。

○本日入電の歐洲及米國の外註値段は次の通り。

歐洲	日本向けカル テル公定相場		大口實際商内 に於ける値段	
	cif 日本英t	河岸着t建	cif 日本英t	河岸着t建
Bars Base	£ 10-8-0	¥ 180.75	£ 8-15-0	¥ 152.46
Round Bars 9mm	10-0-0	191.34	9-7-0	162.75
Square Bars	10-8-0	180.75	8-15-0	152.46
Flat Bars	"	"	"	"
Epual Angles Base	"	"	"	"
Large Angles	"	"	"	"
Joist	9-16-0	169.03	"	"
Chauels mm size	9-18-0	172.60	9-7-6	163.17
Plates Base	9-13-9	168.53	9-8-9	164.24
" 3/16" (4.5mm)	10-3-9	177.10	9-18-0	172.82

" 3/8" (3.2mm)	10-8-9	181.39	10-3-9	177.10
" 3/2" (2.3mm)	12-13-6	219.75	11-5-0	195.31
" 1/6" (1.6mm)	13-6-0	230.46	11-15-0	203.89
Wire Rods	11-0-0	191.34	9-5-0	169.60

換算内容

Exch. 1/2 Landing charges ¥ 2.50
Interest 1.5% I. L. T. = 1015 Kgs

米・國	日本向輸出協定値段	
	cif 日本英t	河岸着t建
Bars Base	49,056	¥ 181.5
Channels	46,816	173.10
Joists	"	"
Angles Base	"	"
Plates Base	46,696	169.01

換算内容

Exch. 27% Landing charges ¥ 2.50
Interest 1.5% petties 1%
I. L. T. = 1,016 kgs

13日 9月中の獨逸鉄生産高は約1,540,000tで前月より40,000tの減少を示した。目下176基の熔鑪爐中139基が活動中である。

○海軍陸戰隊はバイアス灣北岸及び排牙山砲臺に上陸之を占領し淡水の西方に急進撃を續行す。

14日 バイアス灣上陸部隊は不眠不休の努力により遂に惠州城を完全に之を占領せり。

○今週の米國製鋼作業率は、全能力の51.4%と見積られ前週より3.5%の増加を示す。U.S スチール株は63.7%。

○東京伸鐵工業組合では、來る11月1日より、組合員製品全部(普通鋼及中間鋼)に斜線マークを兩端に入れること。中間鋼には該斜線マークの外別に次記の通り中間鋼マークを入れることとなつた。

東京 團 大阪 ◆

15日 商工省では5ガロン罐需給調整について配給ブリキを日本鐵工聯の手で自治的に切符制で配給統制に當らしむることとなり協議會を開催した。

16日 大本營陸軍部發表、石龍東南附近にて廣九鐵道の遮斷に成功せり。

○揚子江右岸の我陸軍部隊は海軍陸戰隊と協力し石灰窑を占領す。

18日 陽新陥落す。

19日 我揚子江部隊は黄石港を占領す。

○8月の全國名目賃銀指數(大正3年7月基準)285.0にして、前月より5厘の續落を示し、實質賃銀指數は生計費指數の騰貴で前月より8厘の低落にして135.0となり前月の新底値を更に下廻た。

○9月の全國生計費指數は211.0で8月と保合。

○南支バイアス灣の敵前上陸部隊は増城を占領せり。

20日 今週の米國製鋼作業率は49.4%と前週に比し2%方減少。U.S スチール株は62.7%。

○米國一級屑鐵相場はピツバーク消費者渡14弗50仙-15弗(前週15弗-15弗50仙)同輸出向紐育解渡11弗-11弗50仙(前週と保合)レール屑12弗50仙-13弗(前週保合)

○午後5時30分大冶鐵山を占領せり。

21日 商工省は告示第303號を以て鐵鋼配給統制團體の追加をなす。(別項參照)

○大本營陸軍部午後10時10分公表、我軍の戰車部隊は午後3

時30分廣東市に入城せり。

- 22日 大本營陸軍、海軍部午後4時30分公表、21日夜我軍は完全に廣東市を占領せり。
- 23日 昭和12年7月を100とする東京市10月分労働者生計費指数は112.8で9月よりも4厘低落又同給料生活者の分は111.8で9月に比べて4厘の低落を示した。
- 24日 今週の米國の製鋼作業率は全能力の53.7%と見積られ前週に比し4.3%の増加。
- 25日 U.Sスチール社の本年第3期(7-9)の同社業績を次の如く発表した。

1. 配當. 優先株は昨年第3期以來1株當り1弗75仙に据置き、普通株は引續き無配。
2. 損益勘定. 配當支拂前の缺損は5,847,000弗で第3期としては1934年來の赤字である。
3. 鋼材積出高. 1,577,000t(全能力の3割3分6厘で本年第2期に比し132,000tの増加である。
4. 使用労働者平均數. 本年9月末の9ヶ月間平均は201,000人で前年同期の233,000人に比し22,000人の減少である。
5. 賃銀支拂高. 1月以降9月迄の賃銀支拂合計は202,488,000弗で前年同期の354,217,000に比し151,729,000弗の減少である。

○屑鐵配給統制實行の母體たる日本屑鐵配給統制株式會社の成立を見る。同社の要綱は(本店)は東京市に置く、(目的)當會社は帝國領土内に於る鐵屑の賣買並に之に附帶する一切の業務を營む(資本金)2,000,000圓にして株式總數は40,000株とし1株の金額を50圓とす。但し該金額を一時に拂込むものとす。(役員)取締役20名以内(取締役社長保倉熊三郎氏、取締役副社長阪口定吉氏)監査役5名以内(常任監査役鈴木徳五郎氏)。

- 26日 米國商務省は9月中の銑鐵輸出高を67,000t(前月20,000t)屑鐵は147,000t(前月107,000t)と發表。
- 27日 米國ベスレーム製鋼會社は第3期(7-9)の業績を次の通り発表した。

1. 純益. 446,000弗で前年同期の150,000弗に比し3倍近い増加を示した。
2. 配當. 來る12月支拂の第3期7分利付優先株は1株につき1弗75仙、5分利優先株は25仙で何れも据置き、普通株は依然無配。

○大本營陸海軍部午後6時30分公表、我軍は午後5時30分陸海協力殘敵を掃蕩し武漢三鎮を完全に攻略せり。

○德安城を完全に占領せり、

○日滿鐵鋼では指定商との打合會に於て次の諸項を決定した

1. 日滿商事の指定商辭退により從來の同社取扱分に付10月積より會社が直接需要家に販賣をなし、爾餘の販賣量を指定商5社に對し所定の比率により、從來の銑種別取扱方法は之を廢し、銑種の如何を問はずプール取扱をなさしむ。
2. 元指定商たりし日印通商は權利を同系の岸本商事に譲り、日印通商はバーン銑輸入取扱に關する指定契約のみを存續する。同大倉鑛業は自身生産者なる爲同系の大倉商事に權利を讓渡した。
3. 指定商5社の取扱比率は三井物産35%、三菱商事

26%、岸本商事23%、大倉商事10%、日商株式會社6%にして取敢ず10-12月積に適用す。

- 28日 獨逸鐵鋼協會發表、8月中の獨逸鐵鋼生産高は單位1,000t銑鐵1,541(8月1,585)銅塊1,984(2,018)
- 29日 近衛首相の兼任たりし外相に有田八郎氏、拓相に八田嘉明氏任せらる。

○武昌の南、粵漢線の要衝咸寧を占領せり。

- 30日 昭和12年7月を100とする全國主要24市平均の10月分労働者生計費指數は113.8で前月に保合、又同全國主要10市平均の10月分給料生活者生計費指數は112.5で9月に比べて1厘の低落である。

10月中爲替相場

上旬			中旬			下旬		
日	對英	對米	日	對英	對米	日	對英	對米
1	1/2	28-3/16	10	1/2	27-7/8	21	1/2	27-1/16
3	"	28-1/16	11	"	27-3/4	22	"	27-3/4
4	"	27-15/16	12	"	27-1/16	24	"	"
5	"	"	13	"	27-5/8	23	"	"
6	"	28-0	14	"	27-9/16	26	"	27-13/16
7	"	"	15	"	27-3/8	27	"	27-7/8
8	"	27-7/8	18	"	"	28	"	27-3/4
10	"	"	20	"	27-7/8	29	"	"
						31	"	"

海外鐵鋼情況

ブラッセル市況(9月22日) 今迄に既に度々述べた通り、カルテル更改問題の不確定に祟られて、本月初頭以來ベルギー鐵鋼業は甚だしい需要減退に悩んでゐた。此の點に關する不安は、6月初めに到つてカルテルの存續決定により解消したが、次いでカルテルの價格引下げが行はれるだらうといふ噂が擴まり、その爲に又復買手は發註を見合はせる事になつた。其後カルテル價格の据置が正式決定を見たので、此處に經濟的な不安は拂拭し去られて、市場は漸く本來の軌道に乗るだらうと期待されるに到た。然しながら時恰も夏涸れの時期に入たので、需要の本格的な復活には秋を待たねばなるまいと云はれてゐた。とかくする中に、歐洲政局の癡チエツコ問題が再燃し、此の事件の發展如何によつては歐洲全體が戰爭の危機に曝される可く、暗雲がヨーロッパの空を蔽ふに到た。此の政治的な不安が取引の狀態に影響を及ぼさない譯はなく、市場の正常的な狀態は三度激しく攪亂された。

此のやうな政情不安が市場を攪亂してゐるにも拘らず、8月末以來海外よりは可成り大口の引合及註文が流入し、又一方面國內需要も益々増大し、コジベルの受註狀況は可成り満足す可きものであつた。試みに今年各月のコジベル受註高を次に掲げて見よう。

	國內向	輸出向	合計
1月	26,250t	72,250t	98,500t
2月	26,750	25,000	51,750
3月	30,250	20,000	50,250
4月	48,250	31,000	79,250
5月	49,550	33,900	83,450
6月	52,000	41,350	93,350
7月	43,040	56,060	99,100
8月	51,100	50,050	101,150
9月(19日迄)	33,500	42,000	75,500

以上に見る通り、受註高は漸増を續けてゐる。政情不安といふ不利な事情の下で、而も毎年の例によれば取引の最も減少する月である8月が、今年に限て最大の受註高を示してゐるといふ此の事實はベルギーのメーカーにとつては相當満足して然る可き事である。然しながら本年初頭に較べて、輸出向註文の數量はまだ甚だしく

少い。此の事實に鑑みて、メーカー側は依然として、海外市場には發註を手控へられてゐる潜在的な需要が相當あり、チエツコ問題が落着すればそれが大舉流入するだらうとの見解を執てゐる。又假に戦争が勃發した場合の事を豫想して見ても、ベルギー及ルクセンブルグは恐らく嚴正中立を守るだらう。その場合には海外需要の大部分は此の2國に流入するだらう。此のやうに考へて、ベルギーのメーカーは現在の事態に對して、甚だ樂觀的な見解を抱いてゐる。その結果メーカーの態度は可成り強硬であり、價格も漸次昂騰してゐる。値引の程度も今迄より減少しつゝある。

8月末頃より、政治的な不安の増大と共に、需要は目立つて氣まぐれとなり、取引の状態は不規則となつた。然し又一方に於て、南アメリカ及極東から可成り重要な引合が入た。その主なるものはアルゼンチン及ウルガイからの棒鋼、支那からの厚板及中板、滿洲國からの鐵筋用丸鋼である。近東市場は閑散であつた。9月第1週に入ては、アルゼンチン、スカンジナビア諸國、バルチック諸國、オランダ等からの註文があつた。又海峽植民地、英領印度、南アフリカ、支那等からも註文があつた。然し取引は一般に斷續的であつた。第3週はバルチック諸島を除いてはヨーロッパ諸國の需要は引弛みを見せたが、近東諸國及南アメリカからの買付があつた。

アメリカの競争は厚板、中板、薄板等については、依然として行はれてゐる様子が感ぜられるが、其他の品種については餘程減少したやうである。尙此の點に關しては、アメリカ鐵鋼業が最近著しい恢復を示して居る事實も、大きな樂觀材料となつてゐる。此のやうな事情の爲か、最近大陸カルテルとアメリカのメーカーとの間の協定の問題が、以前よりも以上にアメリカ側の關心を牽くやうになつたとの噂が行はれてゐる。

銑 鐵 先月末、ベルギーの鑄物用銑とフランスの製鋼用銑の重要な數量に上るドイツ向け輸出契約が結ばれたと報ぜられ、その總量は5-60,000t或はそれ以上に上るものと云はれてゐたが9月第1週に入て、此の契約に基いてベルギー及フランスから大量の積出が行はれた。又第3週にはアルゼンチン、ポルトガル及バルチック諸國との取引も成立した。斯いふ状態で、此の部門の恢復は著しく、在庫の缺乏と共に、價格も昂騰を續けてゐる。即ちベルギー鑄物用3號銑は8月半頃60-61志であつたのが、9月の初めには63-62志6に、9月半頃には64志6-65(紙)FOBアントワープまで上た、但しヘマタイト銑の方はこれと異り、鑄物用840-850白法といふ相場に保合てゐる。

半製品 ベルギーのメーカーは、イギリスの第3/4半期の豫定通りの輸入割當量に基く輸入が行はれる事を、依然として期待し續けてゐた。然しこれは尙遲延して居り、唯8月末に、第3/4半期の割當量に基く輸入が多少行はれたに過ぎなかつた。然しベルギーの再壓延業者は規則的に註文を出して居り、又其他の國への輸出も少量ながらあつた。それで結局8月の受註高總計は27,300tであつた。9月の受註高は、19日迄の合計21,000tであつた。

棒 鋼 8月の受註高總計は42,650tであつた。價格に就いては、再壓延業者は2-3志(金)以上の値引を許容しなかつたが一方メーカーは尙5志以上の値引を認めてゐる様子であると云はれてゐた。ところが9月に入て、市況は稍引締りを見せ、メーカーも以前程の値引は肯せず、特に20日頃からは再壓延業者は公定相場通りの賣値を唱へ、場合によつてはエキストラを要求するまでになつた。引渡の期日も幾分長くなつた。9月の19日迄の受註高は約3,000tで中10,000tが國內向け、23,000tが輸出向である。

三番アイアン・バー 價格は8月末から9月第2週にかけて軟化を續けてゐた。即ち8月末1,055白法FOBアントワープ、9月第1週1,040-1,050、第2週1,025といふ情況であつた。その原因は、一部は棒鋼市場の弱氣の反映であり、又一部は磅の下落に因るものであると説明されてゐた。第3週に入てからは、價格は著しく昂騰し、1,075-1,080に上た。一部の特に受註の多いメーカーには1,100白法を唱へるものも生じた。これは主として、スクラップ價格の騰貴に基くものであると考へられてゐる。

形 鋼 8月受註高總計は9,050tであつた。小形ものを製造する再壓延業者は、受註状態は比較的良好であつた。然しフランスのメーカーは、註文の獲得の爲に可成り努力して居り、或る場合には値引にさへ應じようとしてゐるとの噂もあつた。商況は概して云へば變化なく、價格も大體に於て公定相場が守られてゐると云へよう。9月19日迄の受註高は、國內向け約2,000t、輸出向け約4,000t、計6,000tである。

帶 鋼 コールド・ロール・フープ、ホット・ロール・フープ共に買付は少く、メーカーは相當苦慮してゐる様子である。價格はそれでも、9月第1週頃迄は、どうにか公定價格が守られてゐる模様であつたが、第2週頃から大口註文に對しては値引が行はれ出したらしく、特にコールド・ロール・フープに對しては、スウェーデンの競争に對抗する爲に5-7.5%の値引が許容されてゐる様子である。

厚、中板 8月受註高總計は、厚板、中板、ユニバーサル平鋼の合計で15,000tであつた。アメリカの競争は、オランダ、スカンジナビア諸國、南アフリカ等に於ては、依然として行はれてゐる様子であるが、然し近頃は以前よりも多くの註文を入手する事が出来るやうになつた。それに、南アフリカに於けるアメリカの低率運賃に對するダンピング關稅の設定は、今後幾分此の國との取引が改善されるだらうとの期待を抱かせてゐる。極東との取引は一般に公定割引に依らない以上行はれ難い状態にあり、此の方面の需要は多くアメリカに奪はれてゐる實情である。9月19日までの受註高は厚板、中板、ユニバーサル平鋼の三者合計で、約10,000tである。價格は、極東向けを除けば、一般に公定相場が守られてゐるやうである。

黒 板 買付は甚だ緩慢で、通常買付數量の50-50%にすぎない。黒板及亜鉛鍍板のカルテル公定價格の改訂が問題になつてゐたが、これは結局行はれない事となつた。再壓延業者の値引は8月末15-20志(紙)程度であつたが、9月第1週には20-25に進みカルテル公定價格の据置決定の直後には30-35迄増大した。メーカーの方も、アメリカ及びスウェーデンとの競争の必要上、再壓延業者よりも尙幾分多額の値引を行てゐた。ところが第3週に入て註文は稍増加し、19日までの合計6,500tと可成り満足す可き數量に上り尙引合も少量ながら引續き入て来る状態なので、價格も急に引締り、再壓延業者、メーカー共に値引の程度を20-25志に引下げた。

亜鉛鍍板 取引は依然閑散で、8月末には重要な註文に對してのみ20-25志(紙)の値引が行はれてゐたのが、9月第1週には左程重要でないものにも25-30志の値引が許容されるやうになつた。第4週に入て、此の部門も他と同様幾分の引締りを見せ、値引は一般に15-20志、特別の場合に限て25志といふ程度に減退した。

紐育通信(9月19日發信)

1. 最近に於ける作業率

7月19日報告以後の米國製鋼作業率次の通り。

7月25日建	37.0%	8月15日建	40.4%	9月6日建	39.9%
8月1日"	39.8%	8月22日"	42.8%	9月12日"	45.3%
8月8日"	39.4%	8月29日"	44.0%	9月19日"	47.3%

以上の製鋼作業率を見るに9月6日建の作業率稍低下を見たるは9月5日の労働祭日休業を織込みたるに過ぎず、實質上は上昇し居るものにして、秋季需要旺盛期を控へて堅實なる増加傾向を示しつつあり、但し鐵鋼製品の實需は尙豫想に達せず依然として、沈靜状態にあり、本年來半期に於ける製品の建値も恐らく鉄力板其他一二の製品を除いては何等の變化を見ざるべしと一般に觀測せらる。

1. 歐洲政局と米國鐵鋼界 チェツコスロヴァキヤ問題を中心とする歐洲政局は一時危機を傳へられ、ウォール街方面に多大の衝撃を與へたるが、チエンバラン英首相の訪獨以來一般に樂觀的傾向に傾き、殊に鐵鋼部門に於て差したる動きを見せざるが、萬一戰爭の危機が到來しても多くの鐵鋼業者は先以て眞事態の推移と其調査に取掛るべきを以て、急激に大きな變動は起らぬものと見るもの多し、殊に一時的に價格の吊上が策されたにしても、之は結局實際の需要が喚起されな限り、積極的活動状態にはならざるべしと觀測せられ居れり。

現に歐洲大戰當時の動きを見るに、假りに銑鐵に付て言へば、歐洲大戰は1914年に開始せられたにも不尙、銑鐵需要の急激なる増加は1916年に入てからの事であり、當時銑鐵の或輸出高は銑鐵1t 14弗で買付け歐洲へ1t 40弗で賣却せりと云ふが如きも不尙ありたりと聞く、無論戰爭による急激なる需要増加によつて銑鐵市價の高騰は必然的に起て來るが、然し戰爭の初期に於ては寧ろ下落の足取を取るべく、之に反し平和の時に於ては平均的に良値獲得が出來ると言ふが如き平和論的の見解に立つ業者も少なからざる現状なり。

ドイツ鐵鋼業概観 ドイツの銑鐵生産高は、7月の1,581,798tに較べて、8月は約40,000tの微減を來したが、然しもしも戰爭が起らないならば、ドイツ鐵鋼業が今後尙永い間に亙て、最近の例外的な水準を維持するであらうと云ふことは、疑ひのない事實である。

今年の最初の7ヶ月間の生産高及現在の生産状態に徴して、ドイツの鋼塊生産高は今年は約23,000,000t(以前のオーストリアの生産高をも含む)に達するであらう。此の數字は大戦前のドイツの最高生産高を約4,000,000t 超えるものである。此の鐵鋼生産の高水準は、主としてドイツの國內市場の需要に依て維持されてゐるものである。なぜならば、生産高と輸出高の關係を1913年、1937年及1938年(見積)に就いて見れば、次の様な數字になるからである。

	1913年	1937年	1938年 見積
鋼塊生産高	18,935,039t	19,848,828t	23,000,000t
鐵鋼輸出高	6,502,491	3,688,486	2,700,000

ドイツの鋼材生産及輸出の發展情況を、今年と去年の同期間に於ける數字に依て、比較して見るのは興味あることであらう。次に主な鋼材に就いての數字を掲げよう。

	1月-7月の生産高		増減 (概數)	1月-7月の輸出高		増減 (概數)
	1938年	1937年		1938年	1937年	
棒形	2,903,892t	2,522,917t	(+) 381,000t	311,570t	523,589t	(-) 212,000t
フープ及リストリツプ	649,060	787,281	(-) 138,000	70,774	110,359	(-) 49,000
厚板(3/16"以上)	538,921	442,528	(+) 96,000	66,632	104,189	(-) 37,000
中板(3/16"-1/2")	1,084,529	768,710	(+) 316,000	122,516	119,812	(+) 3,000
中板(1/2"-1/4")	216,468	174,979	(+) 41,000	32,130	61,895	(-) 30,000
薄板(1/16"以下)	366,245	358,786	(+) 7,000	18,880	36,286	(-) 17,000
ブ	455,756	406,074	(+) 52,000	18,880	36,286	(-) 17,000
リ	143,875	165,146	(-) 21,000	67,005	90,388	(-) 23,000
線	203,493	176,146	(+) 27,000	18,605	37,360	(-) 18,000
軌條、枕木及附屬品	712,352	489,503	(+) 222,000	100,460	127,036	(-) 27,000
チューブ及コンテナ	685,861	660,365	(+) 26,000	16,083	268,820	(-) 109,000

(* コンテナを含まず)

以上に依れば、今年の生産高の増加の最も激しいものは主として、棒鋼、厚板(3/16"以上)、軌條及枕木等である。然しながら輸出高の方は稍異なつてゐる。棒鋼の輸出高は212,000tの減少を見てゐる。然るに厚板(3/16"以上)は3,000t増加して居り、又軌條及枕木等は27,000tの微減を示して居る。チューブの數字は特殊の興味を牽くものである。生産高は26,000tの微増を示して居るにも拘らず、輸出高は109,000tと可成り大きい減少を來てしめる。

ドイツの鐵鋼輸出高は、今年になつて、北歐市場に對して著しい減少を來して居る。然るに一方南アメリカ市場に對しては、これに較べれば遙によく去年の状態を維持してゐる。即ちスウェーデン、ノルウェー及デンマークへの輸出高總計は、今年の7月迄で約202,000tであり、昨年と同期間の357,000tに比較して155,000t即ち43%の減少を示して居るが、一方アルゼンチン、ブラジル及チリーへの輸出高總計は、昨年の193,000tに對して143,000tと、僅に47,000t即ち24.7%の減少に過ぎない。

ドイツの鐵鋼の輸出は主として、爲替清算協定を結んで居る諸國との貿易の如何に依て左右される、と云ふことが屢々云はれて居る。このことは或る程度迄眞實であらう。そして北歐諸國への鐵鋼輸出の状態を南アメリカへの輸出状態に比較して見れば、このことが證しされるやうである。然しながらオランダだけは例外である。ドイツ、オランダ間の貿易は全然爲替の清算に基くものであるが、ドイツのオランダへの鐵鋼輸出は、今年の7月迄で161,000tにしか達せず、151,000t即ち約50%の減少を示して居る。

現在、主としてドイツと爲替清算を行つて居る諸國から、尙比較的規則正しい引合及注文が入て來るにも拘はらず、輸出取引は此の數週間來の政情不安に依て幾分影響されて居る。然しながら此の情勢の下でも尙需要が存在して居ると云ふことは、大抵の場合に於て、海外の輸入業者の在庫が缺乏して居ると云ふことを示して居る。9月の初頭以來輸出價格が一般によく維持されてゐることも其のやうな見方によつて説明されるであらう。7月及8月中には値下げは相當頻繁であり、値引は製品の種類、注文の大きさ及向地の如何、等によつて8-10志に互り、時としてはそれ以上にも上た。勿論秘密取引も行はれてゐた事ではあり、黑板及び亜鉛鍍板の場合には非公式の割引は尙最近迄25-30志に達してゐたと云はれてゐる。然しながら全體として、現在は價格引締りの傾向がある。そして例へば構造用鋼材の場合に於ては現在の値引は僅に1-5志(金)間を變動して居るに過ぎない。此の値引は主として南アフリカ市場に對して行はれてゐるものであるが、然し又一部地中海市場(ポルトガル等)に對しても許容されてゐる。黑板及亜鉛鍍板を除いては公式の値引は向地によつて異なるが、いづれにしろ其範圍は狭く

成た。極東との取引は困難であり且不規則である。厚板に對する支那の注文は屢々アメリカの競争によつて奪はれてゐる。

國內生産の著しい増加にも拘はらず、鐵鋼、スクラップ及銑鐵の輸入は昨年と較べて著増して居る。次に其の數字を掲げて見よう。

	1938年 (1月-7月)	1937年 (1月-7月)
鐵 鑛	12,508,684t	11,187,462t
スクラップ	632,275	262,935
銑 鐵	109,053	62,003
半 製品	42,436	37,458

スクラップの輸入は、5月の110,000tに比

較して6月及7月は月平均約 58,000t に過ぎなかつたが、此の事は最近解體用の古船舶が多數輸入された事によつて説明されるであらう。即ち最近合衆國で購入された4隻の汽船(總重量約 24,000t)が到着したのである。

スクラップの國內價格は、統制されてゐるので、不變である。即ち伸鐵用屑鋼 42 ライヒスマルク、厚鋼板屑 46 ライヒスマルク、壓縮物 41 ライヒスマルク、製鋼用屑鋼 31 ライヒスマルク(t當り)である。外國の鐵鑛石の取引は、價格の下押傾向を見ても明らかなやうに閑散である。然しながらマンガン鑛石の購入契約がロシアとの間に結ばれた。銑鐵の國內價格も不變である。即ち鑄物用 3 號銑 63 ライヒスマルク、ヘマタイト銑 69.50 ライヒスマルク、鏡銑(マンガン 10-12%) 87 ライヒスマルクである。

紐育通信(9月27日發信)

ベンジヤミン、シュワルウ氏との會見 ベンジヤミン、シュワルウ氏と言へば米國屑鐵協會長と言ふよりも、軍需品殊に屑鐵其他軍需資源の輸出禁止法案に對し敢然として反對堂々の論陣を張り殊に今春に於ける陸軍査問委員會に於ける民間代表としての熱辯は反對者をして一言の反駁をも加へしめずして、該法案を有耶無耶の間に葬らしめたる事に依て有名である。筆者は去る8月24日此好漢と面接親しく意見を交換するの機會を得たるが、其談論其風貌誠に興味深きものがある。彼は眞に米國を表徴する所の典型的紳士である。慰勸にして而も快活、鬢に白髮を混へて鼻眼鏡を通して温情溢るゝ眼光が輝いて居る。是が彼の熱辯家かと思はるゝ程である。然し談たまたま「エンバーゴ」の問題に觸るゝや眞一文字に結びたる口唇を開いて迸り出る所何時盡くべしとも思はれない。

豊頬に朱をそゝぎたり熱の人 老 水

米國內に於ける屑鐵資源の豊富なること、國內製鋼業者の使用に對し何等懸念の要なき點などを數字を擧げて説明するにあたり學者的存在であるが、更に國防と屑鐵との關係を論じ、20 萬に及ぶ屑鐵業者に生業を興へ、3 億を越ゆる屑鐵取引の重要性を論述し始むるや、其政治家的ヂェスチャーと熱意の奔流には眞に驚嘆せしむるものがある。

而も彼は今日迄餘り多く日本の事は知らなかつたと言ひ乍ら關東地震以來、日本は建築に道路に文化施設に多くの鐵材を必要とし、且今事變終了後は滿洲は元より北支中支に對し日本は文化の向上を期するであらうから、此方面に對する鐵鋼の需要は益々大なるものあり、依て米國がその原料を供給するは世界文化促進の大使命であると説くに至て筆者は思はず、我意を得たりと痛感、思はず「サンキユ」を連呼せざるを得ざるの感激を覺えたのである。

清瀧に銀鱗鱗す鯉一つ 老 水

ブラッセル市況(10月6日) 先週は殆んど總べての人が戦争準備に動員されて、ブラッセル鐵鋼取引場の參會者数は非常に少かつたが、今週は取引場の様子も全く變て、參會者は非常に多く、多數の外國商會も其代理人を參會せしめてゐる。

既に先週からベルギー市場の取引高は非常に多く、9月の最後の5日間に受註高は約 50,000t に上た。其主な原因は、ドイツ及フランスのメーカーが事實上市場に出て居なかつた事にある。今や之等のメーカーの販賣活動は再び元通り規則的になつたが、それにも拘らず需要は依然として甚満足す可き状態にある。其理由は引渡期日の延びた事と或る種の原料の價格が明きらかに上昇傾向を示してゐる事とにある。

註文は著しく増加し、需要は尙増加の動向を示してゐるばかりでなく、政治情勢もミュンヘンの四國會議前に較べて遙に好轉し、平

和的解決に對して以前よりも以上の信頼を以て眺められてゐる。取引が順調に行はれ得るやうな政治的安定の時期が永い期間に亙て來る事を總べての人が期待してゐる。

さう云ふ譯で、ベルギーのメーカーも輸出業者も、今では業界の情勢に對して強く信頼してゐる。今まで註文を見合はせてゐた多くの消費者は、今後數週間の間に買ひに出るだらうと期待されてゐる。

既に各國のメーカーが總べて市場に出動してゐるにも拘らず、今月の最初の3日間の受註高は既に約 25,000t に達し、取引は尙變らず活潑である。9月の終頃市場に出てゐる主な買手はオランダ及スカンジナビア諸國であつたが、今日の會合では主としてアルヂエンチシ、フィンランド及ポルトガルが可成りの註文を出した。試みに最近4ヶ月間のコジベル受註高を掲げて見れば、次のやうな發展を示してゐる。

	輸出向け註文	國內向け註文	合計
6 月	41,350t	52,000t	93,350t
7 月	56,060	43,040	99,100
8 月	50,050	51,100	101,150
9 月	98,600	52,900	151,500

銑 鐵 此の部門は特に強氣の傾向がある。先週は、フランスの鐵道貨車はフランス國境を越える可らずとするフランス政府の法令の爲に、フランスの鐵鑛石の輸入は中絶したが、然し2日前からフランスの鐵鑛石の輸入は再び規則的に行はれるやうになつた。

鑄物用銑の需要は、國內、國外共に以前より遙に強くなつて、鑄物用3號銑のベルギーの國內價格は、40 法方騰貴して500 法となり同輸出價格は5 志方騰て70 志 F O B (紙) アントワープになつた。

ヘマタイト銑の價格も亦引締りを見せた。即ち鑄物用は 850-860 白法 F O B アントワープである。

半製品 受註状態は非常に好い。9月中受註高總計は 31,000t、中輸出註文は 7,200t であつた。

棒 鋼 9 月半頃以來の棒鋼の需要増加は確かに例外的である。直ぐにも戦争の起りさうな危険が無ければ出されなかつた註文までが、多數發註されたと云ふやうな事情が想像される。尤も戦争が起る場合には、一體どうして此の契約を履行するかは、少からず困難な問題である。それは兎に角として、ベルギーのメーカーは棒鋼だけで約 80,000t の註文を入手した。其中約 65,000t が輸出向け、約 15,000t が國內向けである。

引渡期限は一般に長くなつたが、ベルギーの再歴延業者は特に期限を延ばして居り、又以前の割引を總べて取消してゐる。今や價格はカルテルの統制に屬する棒鋼に對しても嚴重に守られて居り、遠東との取引に對してすら値引の行はれてゐる形跡は全くない。カルテルは鐵筋用丸鋼のオランダ向け輸出價格を 2.50 フロリン方引上げてアムステルダム、ロッテルダムを渡し 75 フロリン(紙)とした。

形 鋼 9 月中の受註高總計は 12,000t を越え、又今月の最初の3日間の受註高は 1,500t に達した。價格は堅く守られてゐる。

帶 鋼 此の部門は未だ他の部門に較べればずつと閑散である。然しそれにしても需要は幾分の重要性を示して來てゐる。ホツト・ロード・フープのやゝ重要な契約が約 5 志(金)の割引で、又コールド・ロード・フープの方は約 5% の割引で、取り結ばれたと言はれてゐる。

中 板 9 月中の厚板の受註高總計は 15,000t に達した。中板は約 3,300t、ユニバーサル平鋼は僅か 1,300t に過ぎなかつた。歴延工場は數ヶ月前に較べれば作業率はずつとよくなつた、價格は堅持されてゐる。

黒板 9月中受註高總計は約9,500tであつた。然し此の中には再壓延業者の受註高に含まれて居らず、而も實は此再壓延業者の受註が莫大な數量に上たと云はれてゐる。2週間前には20-30志見當であつた値引が、今では普通の場合約10志、特別の場合15志(紙)程度まで下がつた。

亜鉛鍍板 此の部門にも突然の買付増加が見受けられる。値引は25-30志から約15志程度まで引下げられた。而も一部のメーカーは10志(紙)以上の値引を認めない程である。

紐育通信(9月6日發信)

米國丸鋼及小形シエープの相場に就て 米國精製品に對する相場の標準となるべき重量單位は物によつて相違して居る。即ち丸鋼及小型シエープ(Small Shapes)はlb建即ち100lb何仙と建てられるが、鋼管は1呎建、ワイヤー、シートはlb建、ブリキは3,360平方吋のベースボックス建即ち14×20 inchesの112枚もの1箱の値段が標準單位である。然して相場はすべてベースサイズに依つて建てられ其大きさ、厚味等によつてエキストラを付ける事になつてゐる。別表は1919年11月1日ユー・エス社によつて制定せられ、今や全米に適用せられつつあるベースものと、エキストラの關係を丸鋼及小形シエープに就て表示したものであるが此外規格、契約數量並に切斷賃等に就ても特定の規定がある。

(1) 海軍規格に對するエキストラ	Per 100lb.	Per 2240lb.
1. Hull Material subject to U. S. Navy Department Specification for medium or soft Steel	\$ 0.10	\$ 2.24
2. High Tensile Hull Steel (except Rivet Rods) Subject to U. S. Navy Dept. Specifications	\$ 1.00	\$ 22.40

因に工場自體の品質検査以外ロイド又は American Bureau of Shipping 等の検査證を必要とする場合其検査料は買手負擔の事となつてゐる。

(2) 契約數量に依るエキストラ

一つのサイズものに總量が2,000lb以下なる場合に於てはエキストラ徴収する事となつてゐる。即ち次の通り。

Quantity Differentials	Per 100lb.	Per 2240lb.
1. Quantities less than 200lb. but not less than 1,000lb.	\$ 0.15	\$ 3.36
2. Quantities less than 1,000lb.	\$ 0.35	\$ 7.84

(3) 矯正費

發送に先立ち更に矯正機にかけて矯正する事を欲する場合は其矯正費(Machine Straightening)として100lb 10仙即ち1t(2,240lb) 2弗24仙を徴収する事となる。

(4) 丸及角鋼の機械切賃

1 1/2"以上の丸及角鋼を特種の長さに切斷する場合の機械切賃次の通りである。但しカーボンの含有0.5%以下の場合にして0.5%以上のカーボンを含むものにありては特別に協定を要する。又1 1/2"以下の丸及角鋼に就ては其時の協定に依る事となつて居る。

	Per 100lb.	Per 2240lb.
1. Machine cutting to lengths over 48"	\$ 0.15	\$ 3.36
2. Machine cutting to lengths over 22" to 48" inclusive,	\$ 0.25	\$ 5.60
3. Machine cutting to lengths over 12" to 24" inclusive,	\$ 0.35	\$ 7.84
4. Machine cutting to lengths of 12" and less. extra will be furnished on application, but will not be less than	\$ 0.45	\$ 10.08

(5) 機械切以外の方法にて特種サイズに切斷する場合の切斷賃	Per 100lb.	Per 2240lb.
1. Cutting to length of 60" and over no charge		
2. Cutting to length over 24" to 59" inclusive	\$ 0.05	\$ 1.12
3. Cutting to length over 24" to 48" inclusive	\$ 0.10	\$ 2.24
4. Cutting to lengths over 12" to 24" inclusive	\$ 0.20	\$ 4.48
5. Cutting to lengths of 12" and less. extra will be furnished on application, but will not be less than	\$ 0.30	\$ 6.72

東京大阪市場概況

【上旬】 市中在庫の總量は6月下旬から7月中旬に至る間を最低として、其後漸増傾向にあるが、之は決して漸次一般の需めに應へられるやうになつてゐる事を意味してゐるのではない。

6月末前後に激減したのは、賣り急いだのと、當時残つてゐる需要の多い物即ちベース丸鋼、ベース・アングル、ベース平等がどしどし引き取られて行つたからである。

當時の在庫状態を數字で示す事は許されてをらぬので、概念觀に止めるが、其の減少振りは嘗て見ざるもので、將に異例状態の一言に盡きる。

斯くて當時が異例であつた處へ、其後取引手續の煩瑣、不明等に依り商内が滯滞し、違反を恐れて大事を取る結果行動が消極的となり、一方出てる切符の種類に關せずメーカーから宛がはれ、旁々切符制の徹底するに連れ必然的にメーカーの在庫即ち兎角餘り易い物が無切符で引渡せる市場に向けられたので、過少を改めたのは元より市中在庫の總量を漸増せしめる事となつたのである。

從て市中在庫の總量は増加してゐるとは云へ、決して需給がうまくミートするやうな好ましい増加状態を示さず、不要の物、切符の少ない物が溜り、切實に要求されてゐる物、切符の山積してゐる物に薄いと云ふ畸形的増加状態を來したのである。總量に於て増加したが、不自由な物は依然として不自由で需給の不均衡が是正されたと思はせられる處か不自由觀が前進せしめられてゐるのである。

白米であるベース丸や鋼板、半搗米であるベース・アングルと云ふ主食物が先づ極端に拂底してゐて、山積せる切符を如何とも致し難い。日常無くてはならないが、得てして軽く見られる鹽にも似たベース平も出廻りが無くて、保健上脅威を感じてゐる。極端に言へば猫に小判のやうな供給状態なので、食慾は毫も満足させられないのみか、米鹽に事を缺いて久しいので、足腰が立たずフラフラと云ふ症状なのである。

最近はこの點再検討されて對策が講ぜられつゝあるので、何れは需給關係が改善されて行くには相違なからうが、在庫の總量は増加したが、決して供給が榮になつたのではなく、現在では未だ相變らず需給がミートせず、不自由此上無き情勢を續けてゐる。

【中旬】 戦火南支の空に煌めいたかと思はれる間に廣東は攻略され、漢口の運命亦目睫の間に迫る。

戦果は揚り、國威の伸張昨今の如きは無いが、是れを以て事既に成れりとするのではない事勿論で、今後を一層戒められてゐる。

經濟統制も亦益々増強され、銃後の守りに萬全を期せられるは言ふを俟たない。

されば經濟界は統制經濟の是非を論ずる暇などは無く、日々に起る統制の事實に追はれ、其の對策に腐心せざるを得ない。個々の統制方法の修正は行はれるとしても、統制經濟其のものに對する批判は許される秋ではなく、一路其の進展あるのみである。

統制の進展と云へば、最近頻りに鋼材の共販會社設置説が傳へられてゐる。その眞偽は暫く措くとして、共販組合から共販會社へと云ふ事は確に統制の進展である。其實現が實際に問題とされる迄には幾多の難問を征服せねばならず、設置説其ものゝ眞偽も定かならず、甚だ心元無い事ではあるが、斯る噂が出てゐると云ふ事實丈けでも統制の進展を思はせるに充分である。

尙ほ事がメーカー、指定商、問屋の立場に重大關係を及ぼす丈けに、噂丈けとしても、夫々が最近の重大關心事として耳を聳てざるを得ぬ。従て問屋層が之れに惹かれて、市場の行方、其後に來る値段にまで思ひを致してゐるであらう事は想像に難く無い。萎縮懸念が伴てゐて未だ健全とは云へぬであらうが、心的動員も亦進展してゐると見てよい。

昨今の需給状態は依然として窮窟である。

需要と供給がミートせぬと云ふ状態と情勢とは根本的に變化の有るべき筈は無い。

然しながら、今日謂ふ處の有效需要の條件は、單に現在の價格を以て買付けると云ふ事のみではなく、切符を所持してゐると云ふ事をも數へなければならぬので、其點から見ると、第4/4半期の切符が餘り出てをらぬと云ふ丈けでも需要の壓迫は多少共輕減して居る筈である。尙ほ一方供給は丸鋼、鋼板等特に品不足の激しかつたものも最近に至り弗々ながら入荷を見せるし、又メーカーのストックも市中在庫も増加傾向なので、彼は相俟て事實多少ながら以前より餘裕を持たせられた模様である。尤も在庫の増加と云ふ事はその原因が主として生産と切符との不一致と云ふ事にあるので、在庫の増大はその反面に強壓された需要の存在する事を意味するものではあるが、然しそれにしても在庫の増加と云ふ事は、その品種に就ては供給力の増大を示すは元より、代用されると云ふ事から其影響を他にも及ぼし、又市場に對する心理的影響もあつて、部分的のみならず全般的にゆとりを感ぜしめられると云ふ事は出来よう。

要するに、根本的の需給不均衡と更に其供給限度内に於ける品種別數量別の需給不一致と云ふ點は舊態依然で、最近の状態を遠く出でないが、其處に彼上程度の窮窟の一服は有たやうである。

統制の進展に伴ふ諦念、隨從、慣れると云ふ事も亦昨今の市場の底流を成してゐる事は勿論である。

【下旬】 武漢三鎮も完全に攻略され、此處に北、中、南支に互る尨大なる地域が、事實上我が勢威の下に置かれるに至た。

領土的野心が無く、容共抗日の核心を屠るのが目的ではあるが、東亞の盟主として制壓地區の治安に任ずるのは元より、政、經其他萬般に對して指導的立場に立ち、積極的に援助の勞を執らざるを得ない端的に言へば、國土が大膨脹を來したのと同じである。

されば、鐵鋼界に關する限りは、原料を入れるが、復此の尨大なる地域の需要は内地のそれと同視してかゝらねばならない。

少くとも日、滿、北中支は一視同仁、取るが、與へて、有無相違せしむると共に大局上偏頗無く、共存共榮の實を擧げねばならないので、假令鐵石が手に入つても、それは自由主義經濟機構内に於けるが如くにはメーカーが營利的に恵まれる事を意味するのではない況して内地鋼材市場向供給量の激増を意味するものではなく、内地市場が其の恩典を壟斷する事を約束するものではない。

先づ、帝國の遠大目的達成の爲と、東亞大樂土建設の爲とに使用される事は言ふを俟たないので、推して、大體國內民需を賄ふ處の市場に向けられる數量は知るべしである。とは云へ、鐵鋼界のスケールが非常に大きくなるに相違無いし、需給の調整が鋭意計られてゐるので、現在よりは幾分なりとも供給が増加し、別に最惡の新事

態でも發生せぬ限りは、少く共現在より以上に消極的の供給状態とならぬであらう事は想像される。

然し、物事は得てして都合よく見られ勝ちなので、極端に窮窟の際とて、或は近き將來に期待する向が有るかも知れぬが、それは此際熟慮、再考せらるべきである。

最近、鐵石が入りつゝありとの聲が大分傳へられるので、或は武漢三鎮攻略後の長期建設に伴て、戦果が自ら内地市場にのみ飛び込んで來るやに考へられるかも知れぬが、聖戰に消えた英靈が飛躍大日本帝國の礎石である如く、現在の市場も亦現代か、次代か、或は又其次の代かは知らず、又其外形、内容の實際は知らず、何れは來るであらう所謂飛躍市場に非ずとも、健全市場の捨石なのであるから、少く共當分の間は捨石的存在である事を充分覺悟し、認識せねばならない。

是非共物が欲しい需要家は、*t* 數を揃へれば獎勵金を提供するかも知れぬ。尙又現金別途提供と云ふ事で取引する事も出来るし、極端になると、やらうと思へば無切符でも商内が出来るとであらう。然し、抑々斯ういふ事は論外の極で、若し現在未だ斯ういふ段階に在る人が残つてゐるとすれば、其の濟度し難く、時代を知らざるを憐れむのみで、復何を言はんやである。

御互はよろしく、統制が益々強化される事、決して近き將來に於ては從來謂ふ所の面白い商内や、相當以上の利益が有らう筈は無い事位は確認し、悪い場面としては、配當の制限や、原價の引下げや、配當類似の利益で満足せねばならぬ處へ追ひ込まれる事も豫想して、脱線せず時代に捨てられず、將來に、子孫に、光榮ある健全市場を傳へ度いものである。

市況は大勢前向と殆ど同形、同調に推移してゐる。

シャリング業者の意義 9月9日商工省臨時物資調整局より、鐵鋼配給統制規則第2條に規定したるシャリング業者の義に付き、次記の如く通牒ありたる由につき、之を掲記す。

記

1. 鐵鋼配給統制規則第2條の規定に依り販賣業者と看做したるシャリング業者は厚さ 3mm 超の鋼板を裁斷する業者を謂ふものにして、厚さ 3mm 以下の鋼板を裁斷する業者は之を本則に所謂シャリング業者として取扱はず。
2. 厚さ 3mm 以下の鋼板の裁斷販賣を業とする者は道府縣の鐵鋼製品工業組合聯合會より材料鋼板の割當を受くるものとす而して其の材料鋼板の購入に當りては鐵鋼割當證明書を必要とするも、業者が其の切崩へたる製品を販賣するに當りては鐵鋼割當證明書と引換ふる必要なし。
3. シャリング業者が組織する工業組合には第1種シャリング工業組合（共販指定シャリング業者が組織す）及第2種シャリング工業組合（特約店シャリング業者が組織す）の兩組合あり、第2種シャリング工業組合中には東京及兵庫縣に於けるが如く厚さ 3mm 以下の鋼板を裁斷する業者をも包含するものあるも、之等業者は前項に記載したる通之をシャリング業者として取扱はず。
4. 第2種シャリング工業組合に所属する厚さ 3mm 以下の鋼板を裁斷する業者は之を分離し、別個の工業組合を結成せしむる豫定なり。

事故品整理に關する日鐵の取極 日鐵では今般事故品整理に關して次の如く取極め、10月18日附を以て三井、三菱、岩井、安宅、日本鋼材、高島屋、日立、日本ルール、住友金屬の各社に對して其旨通知した。其概要次の通りである。

記

1. 契約品輸送の爲生じた事故品の申出は從來大體に於て現品到着後20日以内に通知を受けて處理して居た處、最近稍々もすれば遅延の傾向あり、整理困難に就、今後は原則として「事故發生後20日」以上經過したものは受理しない事。
2. 事故發生せるも詳細不明等にて20日以内に申出の出来ない見込のものは不取敢中間報告をす可き事。以上

短尺物の取扱に就て 鋼材共販組合に於ては、短尺物の取扱店として東京110店、名古屋4店、大阪173店、若門倉14店を指定し、去る8日附を以て各店宛其の取扱に關し、次記の如く通達した。

記

1. 取扱店は鐵鋼割當證明書引換に非れば之が販賣をなすことを得ず、取扱店が他の問屋に對し販賣する場合に於ても割當證明書と引換を要す。
2. 一般鋼材問屋に於て註文寸法に依る切揃等の爲殘存鋼材を販賣するときも割當證明書と引換を要す。
3. 切斷機を以て短尺物の切揃販賣をなす業者は工業組合を組織し之に加入し短尺物の取扱店となるを得ず。
4. 短尺物の取扱店は屑物(スクラップ)の取扱をなすことを得ず
5. 短尺物には短尺物名稱の割當證明書を統制團體より發行す。
6. 短尺物の割當證明書にては正品を引渡すことを得ず。然し正品の割當證明書にて短尺物を引渡すも差支へなし。
7. 短尺物の定義別紙の通り。

(別紙) 短尺物(端物、疵物、ミスロール等を含む)の定義

1. 次の各號に該當するものにして製鋼業者、シャーリング業者及伸鐵業者より發生するものは統制品とす但し熔解用を除く
 1. 棒 鋼 丸、平、角 長 12 呎未滿
 2. 形 鋼 大 中 型 長 20 呎未滿
小 型 長 18 呎未滿
 3. 板 厚 板 幅 3 呎×長 6 呎未滿
中 板 幅 3 呎×長 6 呎未滿
薄 板 幅 30 吋×長 6 呎未滿
美裝鋼板 幅 3 呎×長 6 呎未滿
 4. 鋺 力 板 幅 10 吋未滿
帶 鋺 力 板 長 5 米未滿
ロ ー モ 板 全 部
 5. 軌 條 長 6 米未滿
 6. 輕 軌 條 長 4 米半未滿
 7. 線 材 1 捲 30 疋未滿
 8. 帶 鋼 1 捲 30 疋未滿
 9. ミ ス ロ ー ル 製品の原形を有せざるもの
 10. 車 輛 端
 11. 外 輪 打 抜

2. 鋼材販賣店に於て定尺物を註文に依り切揃品に切斷したる殘存鋼材は鐵鋼割當證明書と引換ふることを要す。

鐵鋼配給統制團體の追加 10月21日附商工省告示第 303

號を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定に依り次記の通り團體を指定す。

記

- | | |
|-----------------|----------------|
| ドラム罐工業組合聯合會 | 日本王冠コルク工業組合聯合會 |
| 日本線材製品工業組合聯合會 | 日本磨帶鋼工業組合聯合會 |
| 薪炭瓦斯發生爐工業組合 | 日本熔線工業組合 |
| 日本高壓容器工業組合 | 日本硬鋼線材加工工業組合 |
| 日本線材ミスロール加工工業組合 | 全國染料製造同業會 |
| 日本ポルトランドセメント同業會 | 化學纖維工業鐵鋼配給協議會 |
| 硫安肥料製造業組合 | 日本鑄鋼協議會 |
| 日本アルミニウム工業組合 | |

鐵鋼配給統制團體任所錄

團 體 名	住 所
社 團 法 人 造 船 聯 合 會	東京市麴町區丸ノ内 2 / 10 仲 14 號館
阪 神 造 船 協 議 會	大阪市南區末吉橋通り 4 新橋ビル
關 門 造 船 協 議 會	下關市大字竹崎町 61 林兼ビル
鐵 道 鐵 鋼 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内鐵道同志會内
社 團 法 人 電 氣 協 會	東京市麴町區有樂町 1 / 5 電氣俱樂部内
日 本 土 木 建 築 請 負 業 聯 合 會	東京市麴町區内幸町 2 丁目 1 / 3 大 阪ビル
社 團 法 人 帝 國 瓦 斯 協 會	東京市麴町區丸ノ内 2 / 2 丸ビル内
石 油 業 鐵 鋼 配 給 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内 3 / 4 有樂館内
石 油 鑛 業 鐵 鋼 協 議 會	右 同 所
九 州 石 炭 鑛 業 懇 話 會	福岡縣若松市旭小路 42 番地 社團法 人筑豐石炭鑛業會内
鐵 鋼 統 制 協 議 會	山口縣宇部市西區旭町 宇部石炭鑛 業組合内
宇 部 鑛 業 組 合 鐵 鋼 協 議 會	札幌市北一條西 4 丁目商工會議所内
社 團 法 人 北 海 道 石 炭 鑛 業 會	東京市麴町區丸ノ内海上ビル 磐城 炭鑛業株式會社内
常 磐 石 炭 鑛 業 會	福岡市土手町福岡鑛山監督局内
福 岡 地 方 石 炭 山 配 給 統 制 協 議 會	福岡縣若松市本町 2 丁目 166 番地 互助會事務所内
鐵 鋼 材 統 制 互 助 會 協 議 會	福島縣石城郡好間村隅田川炭鑛業所
仙 鑛 管 内 炭 鑛 鐵 鋼 配 給 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内 2 / 4 三 菱 鐵 鋼 株式會社内
東 京 地 方 鑛 山 配 給 統 制 協 議 會	仙臺市國分町 174 番地 富國館 30 號 (4 階)
仙 臺 地 方 鑛 山 配 給 統 制 協 議 會	大阪市北區堂島濱通 1 丁目 堂島ビル 2 階
大 阪 地 方 鑛 山 配 給 統 制 協 議 會	大分縣北區佐賀ノ關町 佐賀ノ 關鑛山内
福 岡 地 方 鑛 山 配 給 統 制 協 議 會	札幌市南一條西 18 丁目 札幌鑛山監 督局内
札 幌 地 方 鑛 山 配 給 統 制 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内 2 丁目 20 番地 郵船ビル内
日 本 鋼 材 聯 合 會	東京市大森區大森 1 丁目 6775 日 本 特殊鋼株式會社内
特 殊 鋼 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内 1 / 2 樺太ビル 日本鋼管株式會社内
日 本 フ ェ ロ ア ロ イ 協 議 會	東京市麴町區丸ノ内 2 / 4 三 菱 重 工業株式會社内
機 械 工 業 鐵 鋼 配 給 會	(北海道廳内)
保 證 責 任 北 海 道 鐵 鋼 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	青森縣商工課内
青 森 縣 鐵 鋼 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	盛岡市仁王第一地割字内丸 69
岩 手 縣 金 屬 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	仙臺市東五番町 12
宮 城 縣 鐵 工 業 組 合 聯 合 會	秋田市中島字下久保 17 / 4
秋 田 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	山形縣商工課内
山 形 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	福島縣商工課内
福 島 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	茨城縣商工課内
茨 城 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	埼玉縣商工課内
埼 玉 縣 鐵 鋼 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	神奈川縣商工課内
神 奈 川 縣 鐵 鋼 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	新潟縣廳内
新 潟 縣 鐵 工 機 械 金 屬 工 業 組 合 聯 合 會	富山市新總曲輪 1 番地
富 山 縣 金 屬 製 品 工 業 組 合 聯 合 會	福井縣商工課内
保 證 責 任 福 井 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	山梨縣商工課内
山 梨 縣 鐵 工 機 械 器 具 工 業 組 合 聯 合 會	

長野縣鐵工製	品	長野縣商工課內	日本リードワイヤー工業組合	大阪市西區江戶堀南通3丁目5番地
岐阜縣金屬工業組合聯合會		岐阜縣商工課內	東部ドラム罐工業組合	東京市城東區龜戸町1丁目101
静岡縣鐵工機	械	静岡縣商工課內	日本鋼ペン先工業組合	東京市小石川區丸山町16番地
愛知縣鐵鋼製	品	愛知縣商工課內	日本放熱器工業組合	東京市麴町區丸ノ内ビル5階 國際放熱器株式會社內
三重縣鐵工機	器	三重縣商工課內	日本度量衡器計量器工業組合聯合會	東京市芝區西久保明船町17番地 日本度量衡協會內
京都鐵鋼製品工業組合聯合會		京都府商工課內	日本法那鐵器工業組合聯合會	大阪市南區上本町3ノ12
奈良縣鐵鋼製	品	奈良縣商工課內	日本亞鉛鐵板工業組合	大阪市西區江ノ子島西ノ町34
保證責任鳥取縣鐵工	機	鳥取市東町99	日本自轉車工業組合聯合會	大阪市東區北久太郎町4ノ36
鳥根縣鐵工品工業組合聯合會		鳥根縣商工課內	日本鑄物工業組合聯合會	東京市本所區太平町1丁目28
岡山縣鐵工品工業組合聯合會		岡山縣商工課內	滋賀縣鐵工機	滋賀縣商工課內
廣島縣鐵工品工業組合聯合會		廣島縣商工課內	石川縣鐵鋼製	石川縣商工課內
山口縣鐵木工工業組合聯合會		山口縣商工課內	千葉縣鐵鋼製	千葉縣商工課內
德島縣鐵工機	械	德島縣商工課內	日本鑄鐵調車工業組合	名古屋市昭和區藤江町3ノ22
香川縣鐵工機	械	香川縣商工課內	東京府鐵鋼製	東京府商工課內
愛媛縣鐵工機	器	愛媛縣商工課內	群馬縣鐵鋼製	群馬縣商工課內
保證責任高知縣鐵工	機	高知市北本町1ノ94	和歌山縣鐵工工業組合聯合會	和歌山縣商工課內
福岡縣機械工業組合聯合會		福岡縣商工課內	兵庫縣鐵鋼製	兵庫縣商工課內
佐賀縣鐵鋼製	品	佐賀縣商工課內	日本管鐵工組	東京市麴町區丸ノ内2丁目 丸ノ内ビル4階409號
長崎縣鐵鋼製	品	長崎縣商工課內	日置製造工業	東京市神田區鍛冶町3丁目5番地
大分縣鐵鋼製	品	大分縣商工課內	日本鋸刃工業組合	兵庫縣武庫郡本山村北畑字イヨヲ145
鹿兒島縣鐵鋼製	品	鹿兒島縣商工課內	(日本第一種シヤ)	東京市京橋區新佃島西町3丁目3
川口鑄鐵竈工業組合		埼玉縣川口市川口町1039	人造石油製造業	東京市京橋區西銀座6ノ3朝日ビル內
川口鑄鐵戶車工業組合		埼玉縣川口市榮町3ノ102	鐵鋼配給協議會	大阪市浪速區舟出町2丁目22番地
東京眼鏡工業組合		東京市神田區元久右衛門町2ノ3	日本鑄鐵管工業組合	熊本縣商工課內
東京乾電池工業組合		東京市神田區鎌倉町13	熊本縣鐵鋼製	熊本縣商工課內
東京瓦斯機械器具工業組合		東京市京橋區寶町3ノ7 富藤ビル	栃木縣鐵鋼製	栃木縣商工課內
東京メッキバケツ工業組合		東京市神田區東紺屋町21	大工阪府鐵鋼製	大阪市商工課內
東京機構鉛筆工業組合		東京市日本橋區本町4ノ2ノ1	宮崎縣鐵鋼製	宮崎縣商工課內
名古屋輸出樂器玩具工業組合		名古屋市昭和區白金町5ノ19	沖繩縣鐵工業	沖繩縣商工課內
日本時計工業組合		名古屋市中區老松町3ノ23	日本電解曹達工業組合	東京市麴町區丸ノ内1ノ6
日本洋傘骨製造工業組合		大阪市東成區中濱町229ノ3	日本アムモニア	東京市麴町區丸ノ内2ノ6
日本針金綜統工業組合		大阪市東區北久太郎町1丁目55番地	法曹達工業	東京市麴町區丸ノ内丸ビル
日本フラスナー工業組合		大阪市東成區大今里町703ノ6	五ガロン罐工業	東京市日本橋區兜町1丁目8番地 東株ビル4階
關西金屬戶車工業組合		大阪市西區北堀江上通5ノ12	日本鐵鋼製品工業組合聯合會	東京市麴町區丸ノ内ビル
關西纖維機械工業組合		大阪市東淀川區豐崎西通1丁目	食料品罐詰製罐工業組合	

東京大阪鐵鋼市中相場表

		10月8日	10月8日	10月18日	10月18日	10月28日	10月28日
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	21.60~27.40	28.23伸	28.00	伸 27.80	28.00	伸 27.85
	9	22.70~23.20	24.01伸	23.60	23.00	23.60	23.10
	12	20.60~27.20	"/	20.40~27.60	20.97	21.00~24.10	20.95
	19	19.50	20.32	19.90	19.90	19.90	19.90
	25	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	50	22.20	27.70伸	22.60	22.50	22.60	22.55
	65	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	130	26.40~30.00	—	25.70	品切	25.70	—
	150	"/	—	"/	"/	"/	—
	200	"/	—	"/	"/	"/	—
角鋼	9mm	25.80	26.65伸	26.20	伸 27.20	26.20	伸 26.25
	12	26.40	27.18	26.80	伸 26.70	26.80	伸 26.75
	16	21.10	21.90	21.50	21.50	21.50	21.50
	19	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	38	"/	27.18伸	"/	"/	"/	"/
	50	22.20	"/	22.60	22.50	22.60	22.55
	65	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	100	"/	—	"/	"/	"/	"/
平鋼	3×25mm	25.80	26.65伸	26.20	伸 25.20	26.20	伸 26.25
	9×19	21.10	"/	21.50	21.50	21.50	21.50
	6×25	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	6×38	"/	21.90	"/	"/	"/	"/
	6×50	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	6×75	27.00	25.90伸	27.50	伸 25.50	27.50	伸 25.50
	9×100	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	12×100	"/	"/	"/	伸伸伸	"/	伸伸伸
等邊山形鋼	3×20×20mm	—	23.08	—	30.50	—	30.45
	3×25×25	21.60~32.00	22.03	22.00~32.00	28.50	22.00~32.00伸	28.35
	5×40×40	20.60	20.97	21.00	21.00	21.00	21.00
	6×45×45	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	6×50×50	21.10	21.50	21.50	21.50	21.50	21.50
	6×65×65	20.00	20.44	20.40	20.40	20.40	20.45
	9×75×75	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	9×130×130	21.10	21.50	21.50	21.50	21.50	21.50
	12×130×130	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	15×150×150	"/	"/	"/	"/	"/	"/
不等邊山形鋼	9×50×75mm	21.10	21.50	21.50	21.50	21.50	21.50
	10×75×100	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	10×90×125	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	10×100×150	21.60	22.03	22.00	22.00	22.00	22.00
溝形鋼	12×100×150	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	5×50×100mm	22.70	23.08	23.10	23.10	23.10	23.10
	6×65×125	22.20	22.56	22.60	22.50	22.60	22.55
	6.5×75×150	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	7.5×80×200	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	9×90×250	"/	"/	"/	"/	"/	"/
工形鋼	10×90×300	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	5.5×75×150mm	22.20	22.56	22.60	22.50	22.60	22.55
	7×100×200	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	10×125×250	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	8×150×300	"/	"/	"/	"/	"/	"/
鋼板	12×150×350	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	mm						
	1.6×3'×6'	25.80	26.20	26.40	26.20	26.40	26.25
	1.6×4×8	26.90	27.20	27.30	27.30	27.30	27.30
	1.6×5×10	28.00	28.20	28.40	28.30	28.40	28.30
	2.3×3×6	25.30	25.60	25.70	25.70	25.70	25.70
	2.3×4×8	26.40	26.60	26.80	26.70	26.80	26.75
	3.2×5×10	27.40	27.60	27.80	27.80	27.80	27.85
	3.2×3×6	23.70	24.50	24.10	24.10	24.10	24.15
	3.2×4×8	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	3.2×5×10	"/	"/	"/	"/	"/	"/
	4.5×3×6	23.20	24.00	23.60	23.60	23.60	23.60
	4.5×4×8	"/	"/	"/	"/	"/	"/
4.5×5×10	"/	"/	"/	"/	"/	"/	
6.0×4×8	"/	"/	"/	"/	"/	"/	
6.0×5×10	"/	"/	"/	"/	"/	"/	
9.0×4×8	22.70	23.45	23.10	23.00	23.10	23.10	
9.0×5×10	"/	"/	"/	"/	"/	"/	
12×4×8	"/	"/	"/	"/	"/	"/	
薄鋼板 (13板)	川崎	1.03	1.02	1.03	1.05	1.03	1.04
	八幡	"/	"/	"/	"/	"/	"/
ブリキ	米	—	—	—	—	—	—
	170lbs	—	—	—	—	—	—
	200	—	—	—	—	—	—
	英	—	—	—	—	—	—
線材	170	—	—	—	—	—	—
	200	—	—	—	—	—	—
W. W 200	八幡	38.50	38.00	38.50	36.50	38.50	37.00
	200	40.00	39.50	40.00	37.50	40.00	38.00
線材 B. W. G. # 5	薄口	41.00	40.50	41.00	37.50	41.00	39.00
	—	196.00	198.00	196.00	198.00	196.00	198.00

備考 100kg (につき) 置場値段。東京は諸掛含まざる標準裸値段。但し薄板は1枚當り。線材は1當り。ブリキは1函當り。

特表

5

商

況

1075

昭和13年10月中發表各種鋼材建値表

(其の2)

所屬別	品 種 別	分 區	建 値 月 日	建 値		エキ スト ラ	備 考	
				シーヤ及 間屋向	實需向			
鋼 板 共 販	耳 付	小形 (12mm×5' ×20'以下)	厚板 ベース 6mm 4.5 3.2	10-11	185	195	ベース +5 +5	11, 12月積, 据置 その他のエキストラ 幅 7呎~7呎6吋迄 15圓 7呎6吋超~8呎迄 20圓 8呎超~9呎迄 25圓 9呎超~10呎迄 30圓 10呎超 40圓 厚 25mm ~35mm迄 10圓 35mm超~40mm迄 20圓 40mm超~45mm迄 30圓 45mm超~50mm 40圓 長さ 10m以上 10圓 中板の中間寸法は最も近き寸法の値 段に 10圓増し 但鋼板共販の販賣品種は 3mm 超 6mm 未滿の中板 6mm 以上 50 mm 以下の厚板
				11	190	200		
	12	190	200					
	13	—	—					
	14	195	205	ベース +5				
	15	200	210					
	16	—	—					
	17	—	—					
	18	—	—					
	19	—	—					
20	—	—						
21	—	—						
22	—	—						
23	—	—						
24	—	—						
25	—	—						
26	—	—						
27	—	—						
28	—	—						
29	—	—						
30	—	—						
31	—	—						
32	—	—						
33	—	—						
34	—	—						
35	—	—						
36	—	—						
37	—	—						
38	—	—						
39	—	—						
40	—	—						
41	—	—						
42	—	—						
43	—	—						
44	—	—						
45	—	—						
46	—	—						
47	—	—						
48	—	—						
49	—	—						
50	—	—						
51	—	—						
52	—	—						
53	—	—						
54	—	—						
55	—	—						
56	—	—						
57	—	—						
58	—	—						
59	—	—						
60	—	—						
61	—	—						
62	—	—						
63	—	—						
64	—	—						
65	—	—						
66	—	—						
67	—	—						
68	—	—						
69	—	—						
70	—	—						
71	—	—						
72	—	—						
73	—	—						
74	—	—						
75	—	—						
76	—	—						
77	—	—						
78	—	—						
79	—	—						
80	—	—						
81	—	—						
82	—	—						
83	—	—						
84	—	—						
85	—	—						
86	—	—						
87	—	—						
88	—	—						
89	—	—						
90	—	—						
91	—	—						
92	—	—						
93	—	—						
94	—	—						
95	—	—						
96	—	—						
97	—	—						
98	—	—						
99	—	—						
100	—	—						

昭和13年10月中發表各種鋼材建値表

(其の3)

所屬別	品 種 別	區 分	建 月 日	建 値	備 考	
線材共販	5.5mm		10-10	190	11, 12月積 据置 但線材共販の販賣品種は線材全部とす。	
	6		"	188		
	太熔	番 (7~13mm)	"	220		
	低半	炭 接	"	245		
	硬	硬 素	"	230		
	電含	鋼	"	240		
	鐵	信 線	"	260		
ブリキ板共販	170lb (20''×28''×112枚入1函)		10-13	36.00	11月積, 据置, 單位函 鍍力板共販の販賣品種は製法の如何に不拘鍍錫したる鋼板及帶鋼(ローモ板を含む)全部とす。	
	200lb (20''×28''×112枚入1函)		"	37.50		
	胴板		"	21.50		
	110lb (14''×18¾''×124枚入1函)		"			
	天地板		"	30.00		
帶鋼共販	0.9~1mm	19~24mm	10-21	285	11月積, 据置 但帶鋼共販の販賣品種はスケルプ及300mm以下のフープとす。	
		25~35	"	275		
		36~85	"	260		
		86~105	"	270		
	1.1~1.3	19~24	"	280		
		25~35	"	265		
		36~49	"	255		
		50~121	"	250		
		122~150	"	255		
		151~160	"	260		
	1.4~2	19~24	"	270		
		25~35	"	255		
		36~49	"	250		
		50~121	"	245		
		122~150	"	250		
	2.1~2.5	151~170	"	255		
		25~35	"	255		
		36~49	"	250		
		50~121	"	245		
		122~150	"	250		
2.6~3	151~170	"	255			
	25~35	"	255			
	36~49	"	250			
	50~121	"	240			
	122~150	"	245			
目製鐵	美裝鋼板 {1.6mm #18} 白鳩印		10-13	問屋向 263 實需向 276	据置。	
				278 292		
	縞鋼板 {4.5mm 6.0}				245 (標準値段)	全部實需向なり。
	珪素鋼板 (函入)	B 級 C 級 D 級 T 級 T S 級		9-22		追而發表。
				"		
			"			
スコップ用縞板	1.8mm×3'×6' 1.85×4×8		9-22		追而發表。	
			"			
重軌	軌 條 (繼目板共) 條		7-5	210	据置。	
			9-20	210		
鋼	矢板		12-5-25	205	指定河岸渡, t當り値段なり。	